

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/26
登録消費材名	生活クラブ (S) トマトジュース、野菜ジュース、ホールトマト、信州トマトジュース (無塩)		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

【原料について】ジュース加工用トマトの計画的生産活動への参加、産地農家との交流、トマト原料の生産者、栽培面積の減少に歯止めをかける、反収増加のための生産者講習会。またホールトマト原料増産のため、役員、社員が10aの作付けから収穫に携わる。
 【工場について】ISO9001を取得し、維持している。内部監査を充実させ、内部でのPDCAサイクルがまわるよう自主改善を進めている。コンプライアンスを守る姿勢をトップから率先している。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

【品質目標】部署ごとに品質目標をかかげ、個人目標を設定することで、使命感、自分の役割を自覚して進むようになった。しかし業績の向上にまでは至っていない。工場での衛生管理の社内講習会、防虫防鼠の勉強会などを実施している。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

【原料について】トマト原料増産を計画したが、本年の気象条件が7月の長雨、日照不足から近年にない不作に終わった。来年度も社内で協力し、自社での長野県産トマト増産に繋げる
 【消費材原料の見直し】野菜ジュースに使用するトマトピューレーは現在長野県産ですが、長野県産の数量確保が厳しいため、国産(他県産)への変更を検討いただく可能性がある。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/26
登録消費材名	生活クラブキャロット&レモン500ml Rびん、野菜ジュース190g 缶		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

【消費材の原料】
 飲料の酸度調整のための『レモン濃縮果汁』の国産原料不足からアメリカ産の果汁としてきた。数量が確保できれば「国産レモン果汁」への切替が望まれる

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

必要量の算出と国産レモン果汁を使用した試作品の開発

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

安定的な国産レモン果汁の確保と配合変更により、国産果汁100%の実現

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/26
登録消費材名	生活クラブフルーツキャロット190 g 缶		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

【工場について】ISO9001を取得し、維持している。内部監査を充実させ、内部でのPDCAサイクルがまわるよう自主改善を進めている。コンプライアンスを守る姿勢をトップから率先している。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

【品質目標】 部署ごとに品質目標をかかげ、個人目標を設定することで、使命感、自分の役割を自覚して進むようになった。しかし業績の向上にまでは至っていない。工場での衛生管理の社内講習会、防虫防鼠の勉強会などを実施している。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

原料に使用のレモンの変更や、はちみつ不使用の試作品を開発し、国産100%を目指す。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/23
登録消費材名	ミックスチーズ300 g、パウダーチーズ、全酪酪農家6Pチーズ、全酪酪農家とろけるスライスチーズ、全酪酪農家スライスチーズ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

ミックスチーズ300 gについては、セルロース（結着防止）を使用していないため、チーズの特性上ダマになりやすく、製造現場サイドとしては非常に気をつかい製造をしている。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

クレームの減少に一定の成果を得られた。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

5S運動を活性化し、製品品質の更なる向上を目指します。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/26
登録消費材名	全酪バター		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

昨年度前半は、中国等の劇的な経済発展により乳製品等の消費が伸び、世界的にバター等を含む乳製品が不足する状態であった。また、国内については、飼料価格が高騰したため、酪農経営安定化のため乳価の値上げに踏み切らざるをえなかった。結果として、直接飲用乳を含む乳関連製品の末端価格が上昇した。追い討ちをかけるように、アメリカ発の世界的経済不況により、消費低迷となった。現在は、バターの在庫が適正在庫以上になりつつある。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

異物対策を行った結果、本年度は、工場起因事故は、ゼロ件で推移しております。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

5S推進活動、衛生講習会などを通して、モチベーションの維持ならびにさらなる製造現場の環境改善につなげていっております。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/30
登録消費材名	クリームチーズ、クリーミー Sprett・バニラ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

原料(生乳)から製品に至るまでの品質管理体制を確立し、独自で乳等省令にないナチュラルチーズの品質規格を設定する。
食の安心、安全、おいしさの追及。
5Sの推進。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

5Sの活動により生産技術の向上、品質管理に対する認識が向上してきている。
製品開発力の強化をはかっているが、いまひとつ結果が出ない。
各ラインの点検、メンテナンスを積極的に実施し作業環境の改善を行った。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

チーズ製造の副産物であるホエイの有効利用を目的として家畜飼料としての用途開発のため、地元畜産農家及び産学共同により、餌の一部にホエイを加えた「ホエイ豚」の実証的な試験を継続して行っています。食品残渣の有効利用、地産地消につながる循環型農業の実現を目指しています。衛生管理及び品質管理のさらなる向上に努力していきます。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ (株)	記入日	2009/10/9
登録消費 材名	カマンベールチーズ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

・衛生管理として：4月に異物混入の事故報告を受け、更なる衛生管理の徹底を図った。作業前に粘着テープで作業服、ヘアネットに付着した毛髪の除去、製造担当者の上半身の無駄毛処理等。
・可能な限りの合成洗剤から石鹼への切替検討。
・養豚農家へ加工廃棄物（ホエー）、チーズ残渣を提供。
・地域活動として：地元学校給食への食材として提供。小学生の社会科見学の受入を実施。（本年度2回）

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

施設内照明を全て、飛散防止の蛍光灯に変更し安全性の向上を図った。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

従業員一同、更なる衛生管理の向上を意識し、クレームゼロを達成出来るよう努力します。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ (株)	記入日	2009/10/30
登録消費 材名	寒干たくあん醤油味、寒干たくあん梅酢味		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

生産・出荷について：リードタイムの短いことによる製造、出荷調整。製造に最低4日を要するため見込製造で対応。⇒残品のロス廃棄が発生。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

上記ロス品を用いた、ボイルタイプの開発。⇒デポ事業部で扱い。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

工場環境の改善。
①調味液浸漬用コンテナ注入時の上部へのカバー設置。（異物落下防止）
②投入コンベア、包装機の洗浄徹底。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ (株)	記入日	2009/10/30
登録消費材名	フローズンヨーグルト		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

1. 牛乳製造部門における、HACCP取得に向けた製造過程管理体制構築。
2. リサイクルに対応する、廃棄物の分別確立。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

1. 牛乳製造部門における、HACCP取得に向けた体制継続。
2. ISO9001 (2000バージョン取得) 2009年3月

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

1. 牛乳製造部門における、HACCP取得。
2. リサイクルに対応する、廃棄物削減の向上へ向け全社にて努力。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ (株)	記入日	2009/10/23
登録消費材名	ゆば包みセット、生ゆば、引き上げゆば、和風うの花桜えび入り、豆乳ゆば鍋セット		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

- ・ゆば引き上げ作業は、認定制としている。ゆば引上げ者教育、技術の向上のための教育を実施してきました。
- ・より使いやすく、無駄の少ない消費材となるよう包装形態の見直しを実施しました。
- ・カップシール機を導入したことにより、新消費材のバリエーションが増加し、消費材提案の幅が広がりました。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

- ・作業場へは、管理社員 (又は管理社員が指名したもの)による毛髪確認を行ってから入室するようにしたことにより、毛髪混入対策を強化しました。
- ・和風うの花桜えび入りは、形態を1食分のブロック状にしたことにより、必要な分だけお使いいただけるようになりました。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

- ・引き上げゆばの容器を階段状にすることにより、必要な分だけお使いいただけるタイプをご提案いたします。
- ・カップシール製品を新消費材としてご提案できるよう商品開発いたします。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/26
登録消費材名	ハッシュポテト、フレンチフライポテト、ナチュラルカットポテト		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

昨年度の馬鈴薯は、収穫期の天候の影響で全般的に打撲痕が多くトリミング（剥皮後の芽や皮、変色等欠点の除去）作業に大変手間のかかるものであった。標準的な人員配置では馬鈴薯の処理が間に合わないため、増員などで対応せざるを得なかった。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

トリミング不良が原因と思われるクレームの発生はなかった。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

今年度は、多雨、低温、日照不足といった天候不順に見舞われ、作柄は良くない。生理障害や病害を受けた原料を処理することとなるので、トリミング作業に一層の配慮が必要と思われる。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/19
登録消費材名	たけのこ缶スライス、たけのこ缶二つ割、たけのこドライパック缶、穂先たけのこ、細切りたけのこ、いちじくジャム、ゆずこしょう、		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

安定した原料確保を行っておりますが、生産者の高齢化により今後増生産は難しい。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

筍については、安定した原料確保を進めてきたが国産筍の引きが強く市場価格の高値が続き原料価格の上昇となった。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

本年度の筍価格は異常的な上昇であったが、JAとして安定した原料価格を求めていきたい。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/20
登録消費材名	ホワイトルウフレーク、カレールー甘口・辛口、胡麻ドレッシング		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

1. 毎年外部検査による工場衛生及びマニュアルの作成の改善を絶えず繰り返しています。
2. パート社員は雇わず全員社員とし、安定的な供給を目指した体制をとっています。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

- ・原料管理の改善：冷凍原料の再使用についての基準を設けマニュアル化しました。
- ・工場持込リストの改善：持込できないものをマニュアル化し徹底しました。
- ・課題：コンタミの可能性をできる限りゼロに近づける。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

1. 衛生管理の精神を持ち常に努力する。
2. 社内マニュアルを遵守しクレーム対策とする。
3. 一人ひとり、人のやることに完璧は無いとの認識の下、チェック体制の強化を図る。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/26
登録消費材名	きな粉		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

きな粉の生産工場が築25年を経過したため、新工場を建築し、2007年3月より稼働を開始いたしました。大豆をムラなく芯まで焙煎でき、異物混入のリスクを最小限にする設計となっており、安心・安全な製品づくりを行っております。
また、職長ミーティングを実施し、衛生面の意識向上や生産現場の問題点を討議し改善することで品質向上を図っています。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

食品の安心・安全に対する意識レベルが全体的には向上していますが、さらなる教育・指導が必要です。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

片栗粉工場で取得しているSQF (Safe Quality Food) 2000 認証に準じた管理をきな粉工場でも行い、従業員の意識改善、品質改善を図ります。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/20
登録消費 材名	白玉粉		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

これまで原料のもち米は単一品種のもので製造してきたが、指定原料変更のため複数の品種を使用することになった。特徴の違う品種であったが、配合割合などを工夫し、食感などの品質の安定に努めた。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

製造現場での清掃方法、清掃用具の改善に取り組んだ結果、清掃効率が上がり、衛生面が良くなった。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

従業員教育などを行い製品や作業に対する意識を高める努力をする。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/10/28
登録消費 材名	白桃缶、ラフランス缶		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

基本的に果実加工をするために設計された工場の為、5Sや衛生管理面をチームワークでカバーしています。毎朝礼で全員整列し着衣等に不備が無いかチェックし合います。同時に5Sに照らして工場内に問題箇所が無いか確認しています。生産面では、原料の調達が安定しないこと、品質の低下傾向が歩留まりの悪化を助長している。白桃原料の減少に歯止めが掛からない。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

整理、整頓、清掃、清潔、教育を繰り返し徹底し、作業環境が改善されたことを実感してもらったこと。

工場の母体そのものが旧式なので、管理面では外部委託している防虫管理と併せエンドレスに対応していく必要がある。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

何よりも白桃原料の確保に全力を傾注したい。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本ミルクコミュニティ(株)	記入日	2009/8/3
登録消費 材名	パインアップル缶詰		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

1. パイン缶詰に関するJAS認定取得のための内部規程の制定
2. 製品の品質安定化を図るため、原料の品質検査、調合水の水質検査を実施。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

1. 肉詰機前の空缶シュートへエアシャワーを取付け、空缶内の異物除去を強化した。
2. 原料の品質（糖度、肉質、香味等）にバラツキがあるため、製品の品質にも若干のバラツキが発生し、常に安定した品質の製品を製造するには限界がある。（JAS規格には適合）

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

1. 新工場での運営に関し、今期操業までにJAS認定を取得した。
2. 今期からは、新工場での製造のため諸処の問題発生が考えられるので、旧工場と同等以上の品質の製品を製造することを目標としたい。（旧工場と同等の品質管理）